

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月27日

事業所名:多機能型事業所 きらら館はるやま

保護者等数(児童数) 27名 回収数 25名 割合 92%

| チェック項目 | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|------------------------|---|----|---------------|-----|-----------|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 24 | 0 | 0 | 1 | | ・子どもたちが過ごしやすい環境構成への配慮を行っている。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 21 | 0 | 0 | 4 | | ・契約時や保護者会等を通して、職員数や専門性についての情報を分かりやすく伝えていく。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 23 | 0 | 0 | 2 | | ・絵カード等の視覚支援を取り入れたり、空間を区切ったりし、行動のしやすさや分かりやすさにつながるよう配慮を行っている。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 25 | 0 | 0 | 0 | | ・清潔な空間で安心して過ごすことができるよう、引き続き配慮を行っている。 |
| 適切な支援の提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 24 | 0 | 0 | 1 | | ・アセスメントや面談を通して、ニーズや課題の聞き取り、分析を行い、児童発達支援計画の作成を行っている。 |
| | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 24 | 0 | 0 | 1 | | ・引き続き、児童発達支援ガイドラインに沿って、個々の発達に応じた支援内容を設定していく。 ・ガイドラインに沿った内容になっていることを丁寧に説明、確認を行っている。 |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 25 | 0 | 0 | 0 | | ・支援計画に沿った支援となっているか、その都度職員間で確認、見直しを行いながら、丁寧な支援を行っている。 |
| | 8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 23 | 0 | 0 | 2 | | ・子どもが楽しみながら活動に参加し、様々な経験をすることができるよう、子どもの現状や課題に沿った活動内容の設定を行っている。 |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 19 | 2 | 0 | 4 | ・他の保育所と交流する機会があるのか分からない。 | ・交流の機会は少ないため、行事への参加等を通して、交流の機会を増やしていく。 |
| 保護者への説明等 | 10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 25 | 0 | 0 | 0 | | ・丁寧な説明を心掛けていく。 |
| | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 24 | 0 | 0 | 1 | | ・丁寧な説明を心掛けていく。 |
| | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか | 20 | 0 | 1 | 4 | ・まだ利用開始して数ヶ月であるため、今後特性に応じた接し方や褒め方を学べたらと思う。 | ・現状や保護者のニーズに合わせ、外部講師を招く等して、講習会を実施し、特性の理解やかかわり方の学びにつながるようしていく。 |
| | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 25 | 0 | 0 | 0 | ・変わった様子があったときには口頭で説明してくれる。 ・毎日コドモンで伝えてくれている。特別なことがあれば直接話をしてくれる。 | ・画面や送迎時に子どもの様子や課題について伝え合い、共通理解の基、支援を行うことができるようしていく。 |
| | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 25 | 0 | 0 | 0 | | ・面談時や、日々のやりとりを通して、必要な情報を伝えるとともに、育児に対する助言を行っている。 |
| | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 16 | 6 | 0 | 3 | ・仕事等で参加できないこともあり、あまり話す機会がない。 | ・保護者同士の連携の場を設けることはできなかった。今後は、茶話会などの機会を作り、交流の機会を設けていく。 |
| | 16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 24 | 1 | 0 | 0 | | ・相談や申し入れがあった際は、職員間で話し合い、対応を行っている。引き続き、迅速、丁寧な対応を心掛けていく。 |
| | 17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 24 | 1 | 0 | 0 | | ・画面や送迎時に、子どもの様子を伝え、情報伝達を行っている。直接お会いすることができない保護者の方には、必要に応じて電話等で情報伝達を行っている。 |
| | 18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 21 | 2 | 0 | 2 | | ・ブログについては、各グループ月2回更新を行っている。また、Instagram等のSNSも活用し、活動の様子を発信を行っている。 |
| 19 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 22 | 0 | 0 | 3 | | ・荷物や書類等の入れ間違いのないよう、二重で確認を行い、個人情報の取り扱いに十分に配慮を行っている。 | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------|---|----|---------------|-----|-----------|---|--|
| 非常時等の 対応 | 20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 16 | 4 | 0 | 5 | ・能登半島地震があったときに、すぐに地震を想定した訓練をしていて、すごいと思った。 | ・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるよう対応を行っている。 ・実施の仕方について、説明や様子の伝達を行っている。 |
| | 21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 20 | 2 | 0 | 3 | ・火災や地震を想定している。 | ・3ヶ月に一回、地震や火災を想定した訓練を行っている。訓練の様子を保護者へ伝えていく。 |
| 満足度 | 22 子どもは通所を楽しみにしているか | 24 | 1 | 0 | 0 | ・家で活動の話をしてくれる。 ・家で話をする様子から、きら館が好きなことが伝わってくる。 | ・子どもたちが楽しく通所することができるよう支援内容を考慮したり、環境づくりを行ったりしていく。 |
| | 23 事業所の支援に満足しているか | 24 | 1 | 0 | 0 | ・様々な活動、また細かな子どもの様子の説明に感謝している。 ・気持ちを崩すことも多いが、いつも対応してもらい、感謝している。 | ・引き続き、子どもたちが様々な経験を通して学び、成長につながるよう支援を心掛けていく。 ・子どもの成長や課題について丁寧に伝え、共通理解を図りながら、家庭と連携した支援を行っている。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月27日

事業所名:多機能型事業所 きらら館はるやま

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|--|----|-----|---|--------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | ・利用人数や活動内容、子どもの様子に応じて、適切かつ十分なスペースを確保し、支援を行っている。 | |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | ○ | | ・適切である。 ・活動内容や子どもの様子に応じて、配置する人数を調整している。 ・少人数の環境で、より個別にかかわることができるように取り組んでいる。 | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | ○ | | ・見通しを持つことができるよう、活動内容、持ち物の場所等をイラストや絵カード、文字で掲示している。訓練室内には必要最低限の視覚情報を掲示しておき、必要に応じて個々の状況にあった視覚支援を行うこともある。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | ・訓練室使用前、使用後に消毒・清掃を行い、清潔な環境づくりを行っている。 ・子どもたちが活動に興味を持てるような空間作りや、注意散漫とならないよう必要な物品のみ出すよう工夫している。 | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | ・ケース検討会議等を通し、子どもの支援に関する目標や課題を挙げ、振り返りや見直しを行っている。 ・ミーティング等を行い、業務に関する課題を挙げ、改善策を講じている。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | ・保護者等向け事業所評価を実施し、意見を基に改善に取り組んでいる。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | ・保護者向け評価表及び自己評価表の結果をホームページで公表している。 | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | ・第三者評価による外部評価は行っていない。今後検討していく。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | ・定期的に事業所内研修(支援内容や事業計画を踏まえた内容)を実施したり、法人内研修の参加、外部講師を招いた研修を実施し、職員の資質向上に努めている。 ・非常勤職員参加の事業所ない研修の機会を増やし、支援内容の共通理解につなげている。 | |
| | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | ・アセスメントを実施し、子どもの様子や保護者のニーズを分析した上で、児童発達支援計画の作成を行っている。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | ・標準化されたアセスメントツールを使用している。 | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | ・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--|----|-----|--|--|
| 適切な支援の提供 | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | ・児童発達支援計画を掲示し、全職員が計画を意識しながら支援を行うことができるよう取り組んでいる。 | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | ・各グループの担当職員が立案を行った後、他職員に伝達、配慮事項等について話し合いを行う時間を設けている。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | ・各グループの毎月の目標を設定し、子どもたちの現状に応じて活動内容の設定、支援を行っている。 ・各職員が教材等で調べる時間を設けたり、職員会議等で内容の共有をしたりしながら、固定化しないように工夫している。 | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | ・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせる計画となるよう配慮している。 ・活動内容に応じて、個別と集団を判別し、取り組んでいる。 | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | ・朝のミーティングで活動内容の周知を行っている。その後、グループ毎に再度配慮事項等の確認、役割分担を行っている。 | ・日によっては、打ち合わせの実施が難しいこともあるため、毎朝のミーティング後に打ち合わせを行うことを徹底し、支援内容の充実を図る必要がある。 |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | ・活動終了後、振り返りを行う中で、支援内容の見直しを行っている。 | ・振り返りの時間確保が日によってばらつきがあったり、担当職員間ではできているが、全職員への共有ができていなかったりするため、活動毎に確実に実施を行うことができるよう、時間を決めて実施していく。 |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | ・日々の記録を記録を取ることを徹底している。 | ・記録を見直す機会が少ないため、その都度見直しを行いながら、必要に応じて、気付きや改善点についてケース検討会議やミーティングを行っていく必要がある。 |
| | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | ・定期的にモニタリングを実施し、課題を伝え、保護者の意向を取り入れながら、見直しを行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | ・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での様子等を説明している。 | |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | ・必要に応じて連絡を取り、子どもの現状を伝え、連携を図っている。 | |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | ・現在は該当児童がいない。 | |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | ○ | | ・現在は該当児童がいない。 | |
| | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | ・必要に応じて情報交換会を実施したり、活動の様子を見学できる機会を設けたりし、支援内容の共有や相互理解を図っている。 | ・同法人の保育園は情報交換会を行う機会が多いが、外部の保育園や幼稚園とは情報交換会や施設内見学等の機会が少ないため、機会を増やし、より密な連携を図っていく必要がある。 |
| | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | ・就学に向け、情報交換会を実施したり、書面で情報共有を行ったりしながら、相互理解の基、入学できるようにしている。 | |
| | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | ・公開療育や外部研修への参加を行い、他事業所との連携を図っている。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|-----|--|---|
| 関係 | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | ・隣接している保育園の園庭で活動する機会を設けているが、交流の機会は少ない。行事への参加等を通して、積極的に交流の場を設けていく必要がある。 |
| | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | | ○ | | ・今年度は参加ができていない。今後は積極的に参加を行っていく。 |
| | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | ・保護者用アプリや、送迎時に、子どもの様子や課題等について伝え合い、情報共有を図っている。 ・月に一回程度ファミリーサロンを実施し、保護者の方にきら館での様子を見ていただきながら、話をする機会を設けている。 | ・家庭からの聞き取りは不十分であることや、家庭によって偏りがあることが課題である。直接お会いすることが難しい家庭には、保護者用アプリや電話等を活用して、細かく様子の伝達、聞き取りができるよう配慮していく必要がある。 |
| | 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | ○ | | ・子どもへのかかわり方や言語面、運動面について等、子育てに関する講習会を、外部講師を招いて実施し、保護者の学びにつながるよう、家族支援を行っている。 | ・保護者の方の参加が少ないため、個別に声掛けを行ったり、親子活動も同時に実施したりし、参加を呼びかけていく。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | ・契約時や必要に応じて説明を行っている。引き続き、丁寧な説明を心掛けていく。 | |
| | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | | ・丁寧な説明を心掛け、同意を得ている。 | |
| | 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | ・保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施したり、電話や保護者用アプリで対応したりし、その都度助言や支援を行っている。 | |
| | 35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | ・保護者会については、3月に実施をしている。 | ・保護者の交流の機会については、実施ができていない。茶話会や保護者のみの活動等を計画し、保護者同士のかかわりや情報交換ができる場を提供し、機会を増やしていく必要がある。 |
| | 36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | ・保護者からの相談や申し入れがあった際には、迅速に、職員間で共有、対応策を講じている。 | |
| | 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | ・保護者用アプリで、活動予定表や活動の様子の写真に掲載し、発信している。 | |
| | 38 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | | ・個人情報漏洩がないよう、十分に注意している。 | ・荷物や書類等の入れ間違いのないよう、二重で確認を行っていく。 |
| | 39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | ・意思疎通や情報伝達のため、配慮しながら支援を行っている。 | |
| 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | | ・今年度は、地域住民等の招待等ができていないが、今後は地域に開かれた事業運営を心掛けていく。 | |
| 非常時 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | | ・玄関にマニュアルを掲示している。火災や地震等、場面を想定した訓練を定期的に行っている。 | ・職員はマニュアルに目を通す機会はあるが、保護者がマニュアルを確認する機会がないため、保護者会等で、声掛けや周知を行っていく。 |
| | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | ・立合い訓練を2回、自主訓練を2回、計4回行っている。立合い訓練の際は、消防からの助言をいただいている。 | |
| | 43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | | ・服薬については、毎日連絡帳にて確認を行っている。予防接種やてんかん発作等の状況についても、その都度確認し、周知している。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------------|--|----|-----|--|--------------------------|
| 等 の 対 応 | 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | ・保護者へ医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。 | |
| | 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | ・ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティング時に周知、改善策について検討を行っている。 | |
| | 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | ・職員研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。 | |
| | 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | | ・身体拘束については行っていない。 | |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)